

私は勇敢に戦い、
走るべき道のりを走り終え、
信仰を守り通しました。

今からは、義の栄冠が私のために
用意されているだけです。

かの日には、正しい審判者である主が、
それを私に授けてくださるのです。

私だけでなく、

主の現れを慕っている者には、

だれにでも授けてくださるのです。

(2テモテ書4章7節・8節)

十 CFNJ 聖書学院
CHRIST FOR THE NATIONS JAPAN BIBLE SCHOOL

「Run Trough Courageously For The Last Days.」

「終りの日を勇敢に走り抜く」安田 諭 師

CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン 聖書学院

2020年7月・8号 NO.180



終りの日を勇敢に走り抜く

「Run Trough Courageously For The Last Days.」

「あなたがたは、今がどのような時か知っているのですから、このように行いなさい。あなたがたが眠りからさめるべき時刻がもう来ています。というのは、私たちが信じたころよりも、今は救いが私たちにもっと近づいているからです。夜はふけて、昼が近づきました。ですから、私たちは、やみのわざを打ち捨てて、光の武具を着けようではありませんか。遊興、酩酊、淫乱、好色、争い、ねたみの生活ではなく、昼間らしい、正しい生き方をしようではありませんか。主イエス・キリストを着なさい。肉の欲のために心を用いてはいけません。」

(ローマ書 13章 11節～14節)

北斗チャペルキリスト教会牧師・学院理事

安田 諭 師



1. キリストの再臨は近い！

パウロがキリストの再臨が近づいた事を思い、ローマ人への手紙 13章 11節～14節で、「あなたがたは、今がどのような時か知っているのですから、このように行いなさい。あなたがたが眠りからさめるべき時刻がもう来ています。」と語ってから、既に2000年近くが経過しました。最近まではこの時代にも主は来られないのでは？と思っていた中、今年に入ってから様々状況を見ると、正に終末がまじかに近づいていることを思わされます。

パウロはこの所で、「眠りから覚めるべき時刻がもう来ている。」と言っています。そうです！再臨の日が近づく中、教会は戦いの時であり、今この世を支配している罪と死の力から教会が完全に脱却できる時なのです！ですから、光に属する者は、光の武具を身に付け、闇の業に立ち向かわなければなりません！又、主イエス・キリストを着なさいとは、イエス・キリストのからだとの結合を絶えず確認するということです。それは私たちがすでに、この世

を支配する闇の力に対する戦いに召されているということなのです！

2. リバイバルの幻

今から6年前の2014年に、私の息子と義理の息子と3人でイスラエル旅行に出かけました。その時の旅の目的は、単なる観光ではなく、2箇所の、「24時間の祈りの家」を訪問することでした。最初の「トム・ヘス師のエルサレム万国祈りの家」では、そこで行われた2日間の祈りのカンファレンスに参加しました。もう1箇所の、「24時間祈りの家スコット・ハレル」(リック・ライディング師が運営している)では、未だかつて聞いた事がない、素晴らしい話をたくさん聞くことが出来ました。

この祈りの家がある場所は、かつてはダビデが契約の箱をエルサレムに運んだ時に、あのウザの割込みにより一時的に計画を断念し、神の契約の箱を3ヶ月安置することになった、オベデ・エドムの家があった地域だと言われました。そんな説明を受け

ながら、祈りのセッションが終わった後、私は会堂の中の壁に貼られていた三枚のカラフルな絵に、目がくぎ付けになりました。その絵は先ず、世界地図の中に、二人の馬に乗った聖徒たちが馬と駱駝と象の上にまたがり、燃える松明を持って走っている絵でした。意味が分からず尋ねると、この祈りの家を運営しているリック・ライディング師が2011年に見た幻で、その絵の意味は、「世界の国々の先駆けとして、先ず、日本と韓国が共にエルサレムに向かって、ものすごいスピードで走ってくる。それは回復とリバイバルの道を開いていくことを意味します。そしてその馬が走った後に今度は、中国からラクダに乗った聖徒たちが立ち上がり、エルサレムに向かってやって来る姿でした。ラクダは馬ほど速くはありませんが、コブがありそこに水を貯める事が出来ます。それは、今まで多くの迫害に耐えてきた中国が、中東諸国の迫害の中でも耐え抜き、福音を携えて、エルサレムに戻って来る事を意味します。又、その後に、今度はインドネシアとマレーシアから象に乗った聖徒たちが立ち上がってきました。象は、強靱な足があり、多くのものを打ち壊す力があり、それは、今まで霊的戦いに多くの勝利をしてきたこの地域の人々が、アジアの霊的要塞を打ち砕いてエルサレムに戻って来る事を意味するのです。」との説明でした。

私はこの幻の話しを聞いてとても心燃やされました！この終わりの時に主は、アジアの国々を用いて大リバイバルを起こされるのです！それに先立って主が用意しようと計画してくださっているのが、この日の昇る国々である日本と韓国です！今が日本に主の栄光が現される時です！主の御顔を慕い求めるキリストの花嫁たちが立ち上がる時です！そして、2020年になり、年の初めの1月に「中国の武漢で新型コロナウイルスの感染」のニュースが世界中に流れました。

3. LOCKDOWN !

本当に私たちは今、特別な時代に生かされているのです！日本中が、いや！世界中が今現在、新型コロナウイルスの感染の蔓延、拡大に恐れ慄いていま

す。このような状況になり、この出来事をどのように祈るべきかを思い悩んでいた時、私の携帯に私の友人から一通のメールが届きました。それは世界中でも最も感染が広がっているアメリカの牧師からのメールでした。この新型コロナウイルスの感染と戦うのに、私たちクリスチャンが、どのような信仰をもって戦うかについての、励ましと示唆に満ちた力強いメッセージでした。そのメッセージをご紹介します。

「**新型コロナウイルスとの闘い！**」**ロックダウン (LOCKDOWN) の言葉が、希望ある言葉に大変身！**

これは、ロックダウンをパラダイムシフトさせた戦いです。LOCKDOWN（都市封鎖）の単語を使った素晴らしい励ましのメッセージです。

・「**L**」は、「**Listen 聴こう**」神の声を聴いて、それを反映させよう！聖霊様は、助け主、慰め主、励ましの主が、私たちの内に住んで働いておられる！

・「**O**」は、「**Obey 従おう**」神の言葉と神の教えに従おう！

・「**C**」は、「**Call 呼ぼう**」イエスの御名を呼び静まろう！

・「**K**」は、「**Know 知ろう**」新型コロナウイルスの真の目的を知ろう！終わりの時、最後の魂の大収穫が起こる！

・「**D**」は、「**Dwell 留まろう**」パニックにならず、神の臨在の中に留まろう！

・「**O**」は、「**Offer 捧げよう**」全ての人々の安全の為に、祈りを捧げよう！

・「**W**」は、「**Wait 待とう**」忍耐を持って待とう！これは必ず過ぎていくから。

・「**N**」は、「**Nurture 労わろう**」神とともに私たちの個人的な関係者を労わろう！

4. 世界中の神の器たちからのメッセージ

今現在、新型コロナウイルスで世界中に50万人以上の人々が亡くなっています。（6月末）神様が何故、このような状況にを許されたのでしょうか？勿論、その理由は、はっきりは分かりませんが、考えられる事は、この試練を通し、世界中の神の器たちに目覚めを起こさせる為だと思います。そして終末に向けての、大リバイバルが始まる為の、備えをする為であると思います。その為には私たちが神の御心を探ね求めて行かなければなりません。そうす

御心を尋ね求めて行かなければなりません。そうするならばイエスの御言葉と命が、あなたの命となり、神があなたの内側を変えてくださることによって、栄光から栄光へとあなたを変革してくださるのです！私たちは益々、キリストに似た者となっていきたいものです。

ウィズコロナとなった今、私たちはクリスチャンとしてどのように歩むべきでしょうか？ここに世界中の神の器たちの言葉を紹介します。

・「今は、福音を伝えるとき」 私たちが直面しているウイルスの問題は、主から来たものではないが、主はこれをご自身の栄光のために使われる。神に目を向け、御言葉を思い巡らす時として下さった。

(ランディ・クラーク師)

・「私たちはキリストの体」 私たちの王であり、神である方が「あなたは誰ですか？」と問われている。私たちは、キリストの体です。キリスト者です。イエス様の手です。主のために働く者です。人々にパンを与え、慰めを与える者です。一つの体として輝き、主の繁栄を人々のところに持って行き、震えている人たちに主の愛を届ける者です。(ハイディ・ペーカー師)

・「主と過ごす極上の時間」 主の御言葉の中に静まって、主を知ること。自分の家で主と深く交わること。神様からの贈り物のような時間を主の花嫁として、親密な関係を楽しむこと。(ジョージア・バーノフ師)

そして終わりに、カナダのグローバルギャザリング大会でのアミール師の預言の言葉をご紹介します。

「終わりの時代に使命を果たすために」「主は、あなたに語られます。私の愛する者たち、私の子たちよ！世界にいる私の子たちよ！私の愛する教会の始めの日から、今までの歴史の中で、今が非常に大事な時です。何故なら地球規模の大きな変化を私は解き放とうとしているからです。誰ももう個人的に、また利己的にやっていくことはできません。どのような孤立もあってはなりません。全てがハーモニーのある家族的な広がりであればなりません。私は、栄光を最初の使徒的な教会の栄光を取り戻します。超自然的な賜物を活性化させます。霊的な戦士であるあなたたちは、準備をしなければなりません。天から新鮮な啓示を受けるために私の贖いの働きの完成のために、地上における訪れのために。世界的なギャザリングのために。終わりの時代の使命を果たすために。私の栄光の教会に力を

与えるために。それは、終わりの時代の教会です。アーメン。」
(アミール師)

5. 終わりの時の世界の和解と回復

今の時、新型コロナウイルスや、米中の対立など、世界中で、国と国、民族と民族、人と人との分断や衝突や激しい争いが起こっています。しかし、それとは別に、神の御霊は力強く働かれて、今現在も、世界中で素晴らしい和解と回復の御業も起こっています！神様は、すべての国々の神の家族が先ず、共に許し合い、互いが一つとなるように願っておられるのです。終わりの時代と言われている今、御霊は、花嫁なる教会を整え、主がこの地上に再び来られる備えをしておられます。ですから私たちは今の時代のしるしを見逃してはなりません！イエス様は、注意深く見張りの準備をするように私たちに警告しておられます。

「この天地は滅びます。しかし、わたしのことは決して滅びることがありません。あなたがたの心が、放蕩や深酒やこの世の煩いのために沈み込んでいるところに、その日がわなのように、突然あなたがたに臨むことのないように、よく気をつけていなさい。その日は、全地の表に住むすべての人に臨むからです。しかし、あなたがたは、やがて起ころうとしているこれらすべてのことからのがれ、人の子の前に立つことができるように、いつも油断せずに祈っていなさい。」(ルカの福音書21章33節～36節)

私たちが見張り人になることについて聖書には、何と300回以上も書かれています。神ご自身が見張り人の長です！私たちは、今の時代の罪と、神への反逆をとりなす者となり、又、この時代の神の裁きの見張り人となって、この週末の時を勇敢に走り抜いていきましょう！

「私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現れを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。」(2テモテ書4章7節・8節)



CFNJ「ドラマティック カフェ」レポート！

■2020年度4月からの学院のスケジュールは、コロナの影響で、通常授業もすべての活動も大幅に修正を余儀なくされ、長年に亘って開催してきた若者たちの集会YFNも中止となる中、私達が何をなすべきか祈った末、6月末には癒しのドラマを中心としたドラマティックカフェを開催することを決断し、実践しました。当日は外部から、未信者を含めた20名近くの方々が

参加してくださり、主の臨在の中、感動と祝福に満ちたひと時を共に過ごすことができました。又、7月に予定していた国内アウトリーチも、訪問先が次々と閉じられる中、行くべきかどうか迷い祈りましたが、主が下記のみ言葉を語り、次々と門を開いてくださった結果、5か所の教会に4つのアウトリーチチームを遣わすことができました。ハレルヤ！主に栄光あれ！

「み言葉を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。」(2テモテ4章12節)

7月8日から、国内サマーアウトリーチへ！

(2020年7月8日～15日 富山県・旭川市・砂川市・小樽市など、5カ所。4チーム。)

CFNJ ドラマコースメンバー



お祈りください！

小樽市

旭川市
砂川市

CFNJ 夏の国内アウトリーチ！

(富山県・旭川市・砂川市・小樽市など、4カ所。4チーム。)

(期間：2020年7月8日～15日)

●富山県



「マドリードのベテル教会でお仕えして！」マルソー 真子師

マドリードのベテル教会でお仕えして、早14年となりました。皆様のお祈りを通して働かれる主の御力によって、多くの男性女性が、麻薬、アルコール、虐待、売春をはじめ、様々な地獄の罠から解放され、救い主に仕える者へと変えられています。全ての栄光を主に！

今、この世界的な危機は、スペインでも社会全体を揺り動かしています。夫の息子、娘婿を含め、多くの失業者がでています。教会でおこなっている、低所得家庭の方々への食料配布では、いままでの90家庭に加え、30名ほどの新しい方々がこられました。この働きを通して地域に福音の扉が開かれており、多くの方々がイエス様を受け入れています。ベテルは教会であると同時に、無料のリハビリセンターであり、志ある方々の献金に加え、経済の大部分を71ある事業によってまかなっています。この二ヶ月間の停止は少なからず影響しましたが、今少しずつ事業を開き始めています。全てを備えてくださる御父の御介入をお祈りください。✂

＜お祈りのリクエスト＞

- 私達クリスチャンが、聖霊に満たされて時を無駄にせず、大宣教命令を果たすことができますように！
- スペイン住民の目が開かれ、全ての偶像を棄て、唯一の造り主だけを礼拝しますように！
- 経済が備えられますように！

学院の卒業生であり、卒業後、宣教師としてスペインに移住。結婚し、現在、首都のマドリードにある、ベテル教会で奉仕されている、「マルソー真子師」からの証しレポートです。スペインはヨーロッパでも新型コロナウイルスの被害が大きく、5月中旬頃のスペインや教会内の状況について知らせていただきました。覚えてお祈りをよろしくお願いいたします。

COVID19の感染ははまだ広がっており（5月中旬現在）、多くの病院関係者が病に倒れ、残っている方々は疲れ切っています。保健関係者は、非常事態の外出制限緩和にともない、「もし再び感染者の波が来るなら、対応するすべはない」と懸念を表しています。ペテルでは、今まで約50名が感染しました。2名の姉妹が、永遠の住まいへと移されました。そのほかのみなさんは、11名の重症者も含め、回復の恵みをいただきました。麻薬からのリハビリ中のマリアーノは、病院のお手洗いでひざまずき、「私の罪を赦し、救ってくださるなら、あなたに仕えます」と叫び求めた後、25日間意識不明、その後息を引き取りましたが、20分後に息を吹き返し、男性寮に戻って主にお仕えしています！同僚のアンヘルは、闘病を通して主との深い出会いを体験し、こう告白しました：「私はあなたのうわさを耳で聞いていました。しかし今、この目であなたを見ました。」レオは闘病中、医師、看護師さん達への伝道者として用いられました。いと高き方の隠れ場に住む私たちは、疫病を恐れることなく、生きるにしても死ぬにしても、私たちの岩であられる方に信頼することができます。今この時、イエス様にある救いを知らず、不安と恐れ谷間で生きておられる、105の民族国語からなるスペインの住民のために主に願ってください。目が開かれ、最後まで主に命と栄光を捧げるイエスさまの弟子達となりますように！



スペイン、マドリードにあるベテル教会の礼拝



マルソーファミリー(左が(土方)真子師)



感染症から回復し、主の栄光を見た男性寮の兄弟達。



女性寮の姉妹達と

CD販売・刊行物

●お申し込みは／学院事務局まで

※サンプルは、下記のページで聴くことができます。

<http://www.cfnj.com/media.html>



「神の指が
ふれた時」

定価／1枚 (CD)
(送料別) **700 円**



「神のみことば
のいやしの力」

定価／1枚 (CD)
(送料別) **1,000 円**

CFNJ小冊子
無料プレゼント!

●お申し込みは
／学院事務局迄



「聖霊のバプテスマを受けるには」

(ゴードン・リンゼイ著)

「いやしの信仰」(ゴードン・リンゼイ著)

「山をも動かす祈り」(ゴードン・リンゼイ著)

「主の恵み尽きることなく」

(鍛冶川 紀子著)



CFNJ 聖書学院 2020年度1学期

入学式

■4月13日(月)午前9時より、2020年度、1学期の入学式が執り行われました。4月頃の北海道は、新型コロナウイルスの感染が広がっており、式の開催自体が危ぶまれましたが、外部からの来賓者を少なくし、手洗い、マスク着用などの注意をはらいながら、この日、9名の新入生と、2年生からの進級のアルプス入学1名を加えて、合計10名の新たな学生を迎えることが出来ました。ハレルヤ！新型コロナウイルスの感染が広がる中での緊張した状況での式の始まりでしたが、そのような不安な思いは最初の賛美の始まりとともに次第と消え去り、これからの期待と祝福に満ちた素晴らしいスタートとなりました。この新たな献身のスタートを切った新入生の為に祈りをよろしくお願いいたします！以下、新入生のあいさつの言葉をお読みください！



■先ずはこの学校に入る機会を与えてくれた神様に感謝します。僕が8歳の時 CFNJ のアウトリーチチームが僕の教会にきました。その時から、将来はこの神学校に入りたいなと思っていました。それが10年後に神の導きによって学院とつながり入学することができました。僕はこの学校で、神様の素晴らしさや愛を頭だけではなく、体験や奇跡を通して体で感じたいと願っています。僕は、この学校の歴代最年少らしいのですが、エレミヤ1章7節にある「まだ若い、と言うな。わたしがあなたを遣わすどんな所へでも行き、わたしがあなたに命じるすべての事を語れ。」という御言葉に励まされながら、頑張りたいと思います。 ●伊藤 雄基 (ミャンマー) 1・2年コース



■ハレルヤ！主に感謝と賛美を捧げます。ある日、仕事に向かうためバスを待っていた時、「あなたはCFNJに入る」と思いが与えられました。それから約3ヶ月、全てが整えられこの学院での歩みが始められたこと、本当に感謝します！そしてすでに期待を遥かに超えた素晴らしい恵みで溢れていて、本当に来てよかったと思っています。これからの毎日で、主を知り、いかに主のように変えられていくかが楽しみです！主に栄光！「地の果てのすべての者が、思い起こし、主に帰って来ますように。国々のあらゆる部族もあなたの御前にひれ伏しますように。」(詩篇22篇27節)



●鈴木 百合香 (神奈川県) 1・2年コース



■ハレルヤ！主の御名をほめたたえます。このように学院に通えるように整えてくださった主、牧師先生、そして家族に感謝します。学院に通いたいという気持ちが芽生えてからも「本当に通えるのだろうか、通ってもいいのだろうか」と苦しんだ時期もありました。そして祈り続け「求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。(マタイ7章7節・8節)」が与えられました。実際に通い始め、様々な恵みを受けています。このような日々を与えてくださる主に心から感謝します。 ●板井 絵里子 (札幌) 1・2年コース



■この春から CFNJ 聖書学院に入学しました小米良謙明です。この地で聖書を、神様の愛を知るために来ることができたことを心から感謝しています。ここに来てからより強く神様の導きを既に感じられています。神様の召しに忠実に、ここで吸収できるものをしっかりと受け取り、この先の働きに繋がっていきなさいと思います。また、スタッフの方、先生方、学院生のみなさんと過ごす時間を大切に、互いに信仰を深め合えたらと思います。なにより神様に対する愛をより強いものにしたいなと思います！！神様に感謝です！！

●小米良 謙明 (神奈川) 1・2年コース



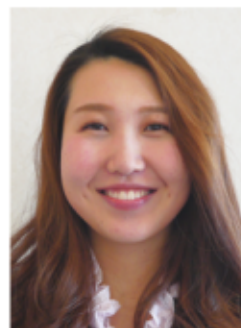
■神様が導いて下さり入学させて頂いたこの学院での生活。これから本当に楽しみです。聖書を授業だけでなく、兄弟姉妹との共同生活において体験的に生活全てで学べる環境に心からワクワクしています。兄弟と同部屋、2 段ベッドで共に暮らす生活や、奉仕を役割分担し持ち回りでさせて頂く事も楽しみの一つ。その中に初体験の奉仕も沢山あり能動的にチャレンジさせて頂ける事に感謝です。今、入学して3カ月が過ぎましたが、どれ一つとっても自分の力では到底やっていけない環境が整っているこの学院での学びが早くも心からの楽しみになりました。学院生活を通し、研がれ砕かれイエス様の似姿に少しでも近づいて行けるよう楽しんで神様と共に歩ませて頂きたいです。

●大木 隆弘 (東京都) 1・2年コース



■ただ主の恵みによって入学できました。私には今、何の目的も願いもなく燃え尽きた状態ですが、私の願望も野望も全て聖霊さまは燃やし尽くし、事は人間の願いや努力によるのではなくあわれんでくださる神によるのだと信じています。この学院では、ダビデが詩篇で歌ったように、私は一つのことを主に願った。私はそれを求めている。私のいのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさを仰ぎ見、その宮で、思いにふける、そのために。そんな毎日過ごす事ができるとただ、主に期待しています。

●木原 エルサレム (長崎県) 1・2年コース



■入学してもう少しで一学期が終わろうとしています。入学する前は、神様にここに導いていただいたのだというよりは、自分でこの学院を選び取って来たんだという思いの方が大きかったのですが、入学してから、確実に神様はこの学院へ導いて、私が入学することもご計画の一つだったのだと感じるようになりました。入学して3カ月しか経っていませんが、それでも主にあって、祝福され、徐々に変わらえています。これからの学院生活、神様にただ期待して、歩んでいきたいと思ひます！

●島勝 愛 (札幌市) 1・2年コース





■ 2年間心備えながら、今年4月から CFNJ 聖書学院に入学できたことを主に感謝します。今の時期こそ、私にはこの学院を通して、イエス様が教えて下さった種まきの例え話、みことばの実が実ることを期待します。主に結ばれた良い友だちをここに集わせて下さいました。共に学びながら霊的成長を望みます。学院のスタッフ、講師、在生が心一つになって神の国と義を求めて行くように一緒に祈りたいです。春が来て夏、秋、冬が訪れるように、私の心に訪ねてくださるイエス様の変わらないに愛に満ち溢れる1年間を期待しながら。

●金 南美 (韓国) 1・2年コース



■元々は2年コースで卒業する予定でしたが、2年目の2・3学期に神様に語られ、新しい志も与えられ、アルプスに入学することを決めました。「権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって。」3年目ということで、様々なチャレンジや新しい学びもあると思いますが、ただ御霊に導かれ、主を見上げて前進し続けていきたいと思っています。

●浜田 賢 (札幌市) アルプスコース



■CFNJ 聖書学院に入学できた事そのものが奇跡としか言いようがありません。普通に考えれば妻と5人の子どもを連れ、自分の教会の責任から離れて一年間を学びに費やすことは不可能だったはずですが、主はすべての扉を開いてくださり、困難な状況をくぐり抜けるように北海道まで導いて下さいました。この一年間を用意して下さったのは主ですから、主で自身がきっと素晴らしいことをしてくださると信じ、期待しています。主を賛美し、感謝をささげると共に、教会の皆様、学院の皆様にご心から感謝します。

●清野 基 (長野県) アルプスコース



2020 年度 2 学期

CFNJ 特別講義 ゲストスピーカー

授業カリキュラム スケジュール

●ゲストスピーカーの講義は、どなたでも聴講できます。聴講は無料です。(席上献金あり。一部授業は有料。)又、各コースの授業も聴講可能です。(有料)詳しくは学院事務局迄お問い合わせください。

(2020年9月7日(月)~12月4日(金)迄)

**無料体験入学
実施中!**
平常授業のある3日間(3泊4日)
※詳しくは事務局まで。



有賀喜一師

●伝道者、神学校教師。学院顧問。

9/7~11 1・2時間目



ダニエル・マカーティー師

●宣教師。アメリカ人。フィリピン・ミャンマー等、アジア各国で伝道。

10/19~22 1・2時間目



安食弘幸師

●日本キリスト宣教師、峰町キリスト教会主任牧師。

11/10~13 2・3時間目

1・2年コース (必修科目)

(敬称略)

	月	火	水	木	金
1 AM8:45~9:40	新約聖書概論Ⅱ 金聖圭	クリスチャンホームの基礎 岡田好弘	宣教の実践 菅原真一	説教 鍛冶川利文	ローマ書 長沢克己
2 AM10:00~10:55				今日の聖霊 アルマ・ベルメホ	
3 AM11:05~12:00	詩篇2 田中博	組織神学 鍛冶川利文	詩篇2 田中博	組織神学 鍛冶川利文	

アルプスコース (必修科目)

1 AM8:45~9:40	リーダーシップⅡ 長沢克己	牧会カウンセリングⅡ 小栗昭夫	牧会論 田中博	ヨブ記Ⅱ 石田吉男	聖書釈義Ⅱ 松原望
2 AM10:00~10:55					
3 AM11:05~12:00	主の祭り 金聖圭	五役者の学び 岡田好弘	主の祭り 金聖圭	伝道のマスタープラン 鍛冶川利文	五役者の学び 岡田好弘

選択科目

午後 AM 13:00~15:00	ドラマクラス 仲宗根昇平	タンバリンクラス 鍛冶川紀子	ヘブル語クラス 金聖圭 (一年コース)	実習 (必修)	ドラマ演劇クラス 鍛冶川紀子
----------------------	-----------------	-------------------	---------------------------	------------	-------------------

アメリカ・ダラス市のクライスト・フォー・ザ・ネーションズとの提携姉妹校

ホームページをご覧ください!!

cfnj.com
随時願書受付中!

新入生募集中!

2020年9月(2学期)、及び、2021年1月(3学期)からの入学。



無料体験入学 実施中!

平常授業のある3日間(3泊4日)

※詳しくは事務局まで。

- アルプスコース(牧師・リーダー養成)
- 1・2年本科コース ●1学期だけの短期で学ぶ事も可能です。



■SNSでCFNJの最新情報を

・Facebook: @CFNJBS

・Instagram: CFNJ 聖書学院



学院の特徴

- ・臨在溢れる賛美礼拝
- ・御霊に満ちた講師陣
- ・実践的なカリキュラム
- ・国内外のアウトリーチ
- ・独身寮・家族寮完備
- ・アメリカ留学編入制度
- ・多彩な選択課目

選択課目

- ドラマ・演劇クラス
- ピアノクラス
- ワークショップ・ドラムクラス
- 英語クラス
- ヘブル語クラス
- ボイストレーニングクラス

学院の必要と祈りの課題!

ハレルヤ!いつも学院を覚えてお祈りくださり、尊い献金をもって支えてくださる皆様、本当にありがとうございます!皆様のご支援に支えられて、学院に与えられた使命を果たすべく、スタッフ一同心を合わせて祈りつつ日々の業務に励んでおります。その中で今、様々な必要を覚えておりますので、下記の祈りの課題を共に祈りくださり、導かれた方はご支援のほど、よろしくお願いいたします。

1. 学生数の増加の為。(現在の21名が30名以上になるように)
2. 学院施設の老朽化にともない、修理の費用が満たされますように。
3. 学院スタッフの健康と学生の学び、生活面、経済の必要の為。



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157

(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688

●e-mail: office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

